

メディアワールド

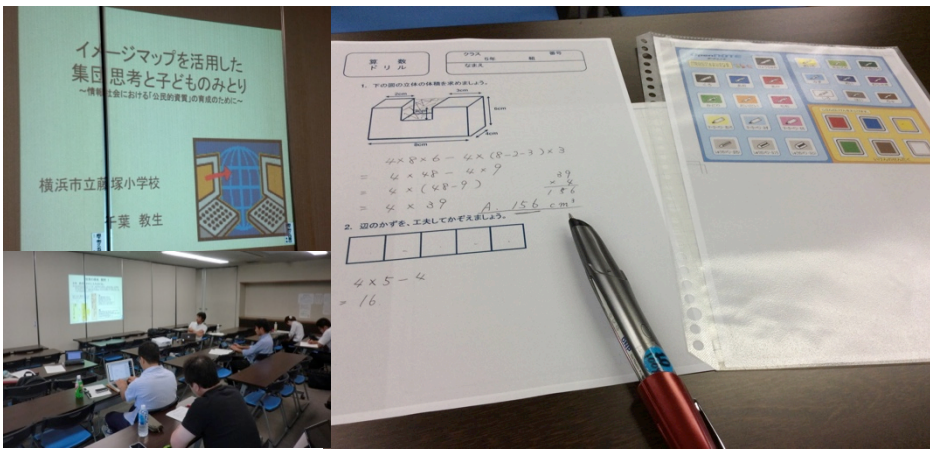
横浜市立小学校
情報・視聴覚教育主任様

横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育研究部会員様

平成26年度 11月号
(6月研究会)

【発行】

横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育部会
会長 渡邊 和也



スキルアップ部会「デジタルペンの活用事例」

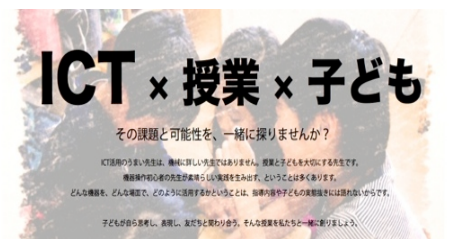
授業デザイン部会「イメージマップを活用した集団思考と子どものみとり」

スキルアップ部会では、大日本印刷の方から、デジタルペンの活用事例を体験やグループセッションを交えながらお話していただきました。基本的な機能を説明していただいた後に、実際に1人1本のデジタルペンと紙を貸していただき、体験しました。次に、算数や図工の事例を通して、電子黒板やプロジェクターと連携した実践事例をビデオで紹介していただきました。書いた過程を再生しながら、自分の意見ややり方を発表するなど、色々な単元の150ほどの事例があるそうです。本部会の高野先生の活用事例として、少人数算数や国語の授業などでの実践についても紹介していただきました。実際に活用してみて、鉛筆感

覚で使える。学年を問わない。自分や相手の考えが見える、広く使える。Bluetooth なので、現時点でも使用可能など、たくさんのメリットを教えてくださいました。また、最近全国で活用が始まっているタブレットとの連携の紹介もありました。

授業デザイン部会では、藤塚小学校の千葉先生による、「イメージマップを活用した集団思考と子どものみとり」について発表がありました。情報社会の中でどのように子どもの思考を促し、またそれをもとにいくかについてイメージマップ活用の紹介があり、会員からの意見をもとに活発に議論が行われました。イメージマップを活用することで子どもの

思考が広がり、深まりを自分で認識できる、可視化できるものとして有効な学習ツールになります。また、子どもの知っていることや考えていることをマップにすることで分かっていること／分かっていないこと、善と悪、知りたいことなどが見える化され、焦点化することができるというメリットがあり、今後の学習方法としてとても興味深い発表でした。



【編集】

紀要・広報委員会 武井 三也
〈青葉区 鴨志田緑小学校〉